



FESTIVAL DE CANNES
2025 OFFICIAL SELECTION
UN CERTAIN REGARD

第78回カンヌ国際映画祭
「ある視点」部門正式出品作品

カズオ・イングロ × 石川 慶

ノベル文学賞受賞

日本アカデミー賞
最多8部門受賞『ある男』



「私」
がついた嘘

A Pale View of Hills

遠い山なみの光

9.5 FRI

広瀬すず 二階堂ふみ 吉田 羊

カミラ・アイコ 柴田理恵 渡辺大知 鈴木碧桜

松下洸平 / 三浦友和

監督・脚本・編集：石川慶

原作：カズオ・イングロ / 小野寺健訳「遠い山なみの光」(ハヤカワ文庫)

製作総指揮：堀 大志

エグゼクティブプロデューサー：カズオ・イングロ 本多利彦 依田 賢 岡宮隆史 早川 浩 野村明男 吉村和文 Naomi Despres Michele Marshall

プロデューサー：石黒彰之 Stephen Woolley Elizabeth Karlson Mariusz Wlodarski Marta Gmosinska

撮影監督：Piotr Niemyski 音楽：Pawel Mykietyn ラインプロデューサー：高野史行 Benjamin Greenacre

編集：小川 武 Martin Trevis 装飾：森 公美 Hannah Spice スタylist：高橋さやか Matthew Price

ヘアメイク：酒井夢月 Claire Williams 音楽効果：中村佳央 スクリプター：永倉美香 Savannah Bieding

ポストプロダクション：バーバイザー Mateusz Kozak エグゼクティブVFXプロデューサー：Marina Sawicka

キャスト：二階堂ふみ 山本舞子 Oliver Scott-Wells 助監督：尾花 陽 田澤和一 制作担当：関口 彰 Lee Tolley

製作幹事：U-NEXT 兼 U-NEXT 制作プロダクション：分福 / ザ・ファーム 共同制作：Number 5 Films, Laza Films 配給：GAGA

調成：JLOX 文化庁文化芸術振興費補助金(日本映画製作支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 国営

©2025 A Pale View of Hills Film Partners

GAGA
GAGA GROUP





ノーベル文学賞受賞作家

カズオ・イシグロ

日本アカデミー賞受賞監督

石川慶

©Kazuo Ishiguro

世界を熱狂させた物語は、
いよいよ日本へ――。

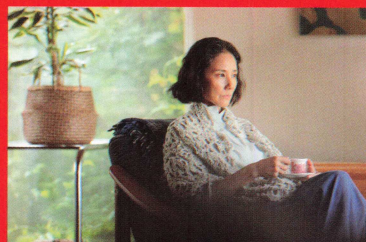
2025年5月、カンヌ国際映画祭の会場を大きく沸かせたのが、日本映画『遠い山なみの光』だ。公式上映後には、1068席の会場がスタンディングオベーションの観客で埋め尽くされる中、原作者のカズオ・イシグロと石川慶監督が感動の面持ちで固い握手を交わし、広瀬すずらキャストたちも映画の余韻と熱狂の渦に包まれていた。

1989年にイギリス最高の文学賞であるブッカー賞、2017年にノーベル文学賞を受賞し、二つの世紀を代表する小説家となったカズオ・イシグロの原点、1982年に発表し王立文学協会賞を受賞した長編小説デビュー作品『遠い山なみの光』を映画化した本作。監督・脚本・編集は、『愚行録』がヴェネツィア国際映画祭で絶賛され、『蜜蜂と遠雷』が日本アカデミー賞優秀作品賞を受賞、『ある男』では日本アカデミー賞最優秀作品賞を含む最多8部門受賞という快挙を成し遂げた石川慶。また主人公の悦子を演じるのは広瀬すず。共演に二階堂ふみ、吉田羊、カミラ・アニコ、松下洸平、三浦友和と、日英映画界の煌びやかな至宝がそろった。

ある女が語り始めたひと夏の記憶
その物語には心揺さぶる〈嘘〉が
隠されていた

日本人の母とイギリス人の父を持つニキ。大学を中退して作家を目指す彼女は、長崎で戦争を経験した後イギリスへ渡った母の悦子の半生を作品にしたいと考える。娘に乞われ、ずっと口を閉ざしてきた過去の記憶を語り始める悦子。それは、戦後間もない長崎で出会った、佐知子という女性とその幼い娘と過ごしたひと夏の思い出だった。だが、ニキは次第にその物語の食い違いに気づき始め――。

遠い山なみの光



©2025 Yamanami Yoko. All Rights Reserved.

9月5日(金)全国ロードショー

gaga.ne.jp/yamanami/

✕ @apaleview2025 @yamanami_movie